

糸魚川市駅北大火 被災者・関係者説明会

期日：令和2年2月19日(水)

場所：ヒスイ王国館2階ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 全体説明

(1) 義援金の配分について

資料1

(2) 復興まちづくり計画の進捗と評価について
(今年度の主な取組と内部評価の概要)

資料2

(3) 復興関連工事の予定について

資料3

(4) 駅北広場の開設について

資料4

(5) 駅北まちづくり会議について

資料5

(6) その他

4 閉 会

義援金の配分について

～第 8 次配分計画について～

第 8 次配分として、被災商店街及び被災地区へ次のとおり配分することとしました。

義援金の配分は、今回をもって終了します。

1 配分内容

(1) 商店街が行う再建への支援

ア 対 象 被災した街路灯等の再建への支援

イ 支援額 6,500千円

(2) 被災地区が行う復興に関する事業への支援

被災4地区 14,000千円（合計）

※現在の居住被災世帯数によって、配分額に差があります。

2 配分原資

義援金合計額（確定）	819,806,572 円
(1)第1次から第7次までの配分予定額の合計	799,300,000 円
(2)第8次配分予定額	20,500,000 円
(3)配分予定残額	6,572 円

3 義援金申請期限

第8次配分までの義援金の申請期限は、令和4年3月31日とします。

4 義援金の配分残額等の取扱い

上記申請期限後の義援金の配分残額及び支払残額は、「駅北大火復旧復興基金」に積み立てます。

この基金は、駅北大火による被災者支援及び復旧・復興に要する費用に充てることを目的とした市の基金条例に定める基金です。

令和元年度 復興まちづくり計画の 進捗管理と評価について

令和元年度に計画している施策 62 件のうち、「完了」は 11 件（17.8%）・「実施中」は 49 件（79.0%）であり、一部の施策を除いて計画どおり進捗しています。

また、戸建てでの再建を希望される方の住宅・事業所は、昨年の夏頃（火災から約 2 年 8 か月後。復興まちづくり計画の策定からは約 2 年後）に再建が完了しています。

1 進捗管理と評価の概要

(1)対象施策 復興まちづくり計画において令和元年度に実施することとしている 62 施策

(2)評価方法

- ・内部評価：令和 2 年 1 月 14 日～31 日
※あわせて被災者・関係者アンケートを実施中（2/21 まで）
- ・外部評価：外部有識者を交えた評価委員会（3/24）

2 施策の実施状況

復興まちづくり計画の施策	78 件
(1)平成 30 年度までに完了した施策	16 件
(2)令和元年度に計画している施策	62 件
完了するもの（※1）	11 件（17.8%）
実施中のもの	49 件（79.0%）
計画遅れのもの（※2）	2 件（ 3.2%）
未着手のもの	0 件（ 0.0%）

【※1 令和元年度に完了する施策】

- ・防災機能を備えた広場の整備
- ・海水や用水など自然水利の活用
- ・避難誘導看板の設置
- ・消火栓の機能強化
- ・防災学習のための看板の設置
- ・ふるさとかるたの路面表示
- ・にぎわい創出広場（駅北広場）の整備
- ・街なか駐車場の検討
- ・誰もが気軽に集える場づくり
- ・生活再建のための金融等（生活資金）の支援
- ・あいプロジェクトの実施

【※2 計画に対して遅れの施策】

・にぎわいの拠点施設の整備

⇒駅北地域全体のまちづくり戦略策定（8月頃）に向け、駅北まちづくり会議を設置して、にぎわいの拠点施設についても方向性を見出すべく検討を継続しており、復興まちづくり計画の期間である令和3年度までの整備が難しい状況であるため。

・海望施設の検討

⇒駅北地域全体のまちづくりのなかでの位置づけや国道と海岸に近接する立地条件等も考慮する必要がある、既存の展望施設の機能拡充やリニューアルあるいは新設なども含め、復興まちづくり計画の期間である令和3年度までに方向性を見出すことが難しい状況であるため。

3 重点プロジェクトごとの評価

① 大火に負けない消防力の強化

- ・昨年度の大型防火水槽に続き、用水等からの取水口の増設も今年度完了見込であり、被災地周辺の建物密集地域等への備えも含めた消防水利の確保は大きく進展しました。
- ・40 ミリホースは市内全域への配備が完了し、自治会等が主体となった訓練をあわせて実施することで、初期消火体制の確認や防火意識の醸成につながっています。
- ・今後は、これらの消防水利や資機材を活用した訓練、消防団や地区と連携した住宅用火災警報器の設置と更新の呼び掛け、出前講座や一般家庭防火診断などにより、防火意識の更なる醸成に取り組みます。

② 大火を防ぐまちづくり

- ・市道の拡幅と防災機能を有する広場の整備、本町通り沿線における火災に強い建物の再建が概ね完了したことで、都市の防災力が大きく向上しています。
- ・防災広場は市民公園として供用を開始し、地区や市民の交流事業等で活用いただいております、住民や来街者が気軽に集い憩える空間として、今後もさらなる利活用を促進します。

③ 糸魚川らしいまちなみの再生

- ・被災前よりも建物が少なくなり、駐車場なども目立つ状況ですが、建物については、景観不燃化ガイドラインにより、概ね色合いなども含めた全体的に調和のあるまちなみとなっています。
- ・本町通り沿線は、建物の前面に駐車場を設ける方が多く、雁木の連続性を懸念する声も聞かれますが、市有地の雁木5か所の完成を契機として、さらに機運を盛り上げ、より多くの方が雁木の再建に取り組みやすい環境を整えていきます。
- ・無電柱化については、本町通りの雁木や道路の美装化とあわせ、沿線住民へ説明し、協力を得ながら着実に整備を進めていきます。

④ にぎわいのあるまちづくり

- ・にぎわい創出広場（駅北広場）の整備を進めるとともに、4月の開設に向けた愛称募集や利用促進に向けたワークショップ等により、施設への期待や機運が高まりつつあります。
- ・リノベーションスクールや糸魚川創成塾、活動団体への支援などを通じて、駅北地域での創業やチャレンジも生まれています。
- ・来年度に向けては、こうした活動（ソフト）と広場や公園などの施設（ハード）を有機的に結び付け、まちづくり戦略としてとりまとめ、持続的な活動展開につなげていきます。

⑤ 暮らしを支えるまちづくり

- ・昨年4月から供用を開始した駅北復興住宅では、一般公募の方も含め、現在18世帯約30人が居住し、被災地における居住人口の確保とコミュニティの維持に寄与しているほか、訪問診療所の診療開始により市内全体の医療サービスの向上にも寄与しています。
- ・復興まちづくり情報センターでは、主に地区やまちづくり団体の活動に対する相談や商店街に出向いての復興かわら版の配布などを行っており、気軽に相談や会話ができる関係性を築くことで、被災地区の活性化に寄与しています。

⑥ 大火の記憶を次世代につなぐ

- 大火3年事業では、「戦う消防隊」コーナーを設け、大規模化学火災等に対応する車両の展示や、はしご車搭乗体験、40 mmホースや水消火器による初期消火体験などを行い、多くの方から大火の記憶と教訓を改めて胸に刻んでいただくことができました。
- 開設から2年余りが経過する復興情報ホームページでは、かわら版「HOPE 糸魚川」を継続的に発行し、大火や復興に関わる方々の思いをインタビュー形式で掲載・蓄積できています。
- 駅北広場「キターレ」における、焼損した消火資機材や生活用品等の展示とあわせ、大火の記憶の収集と伝承に努めています。

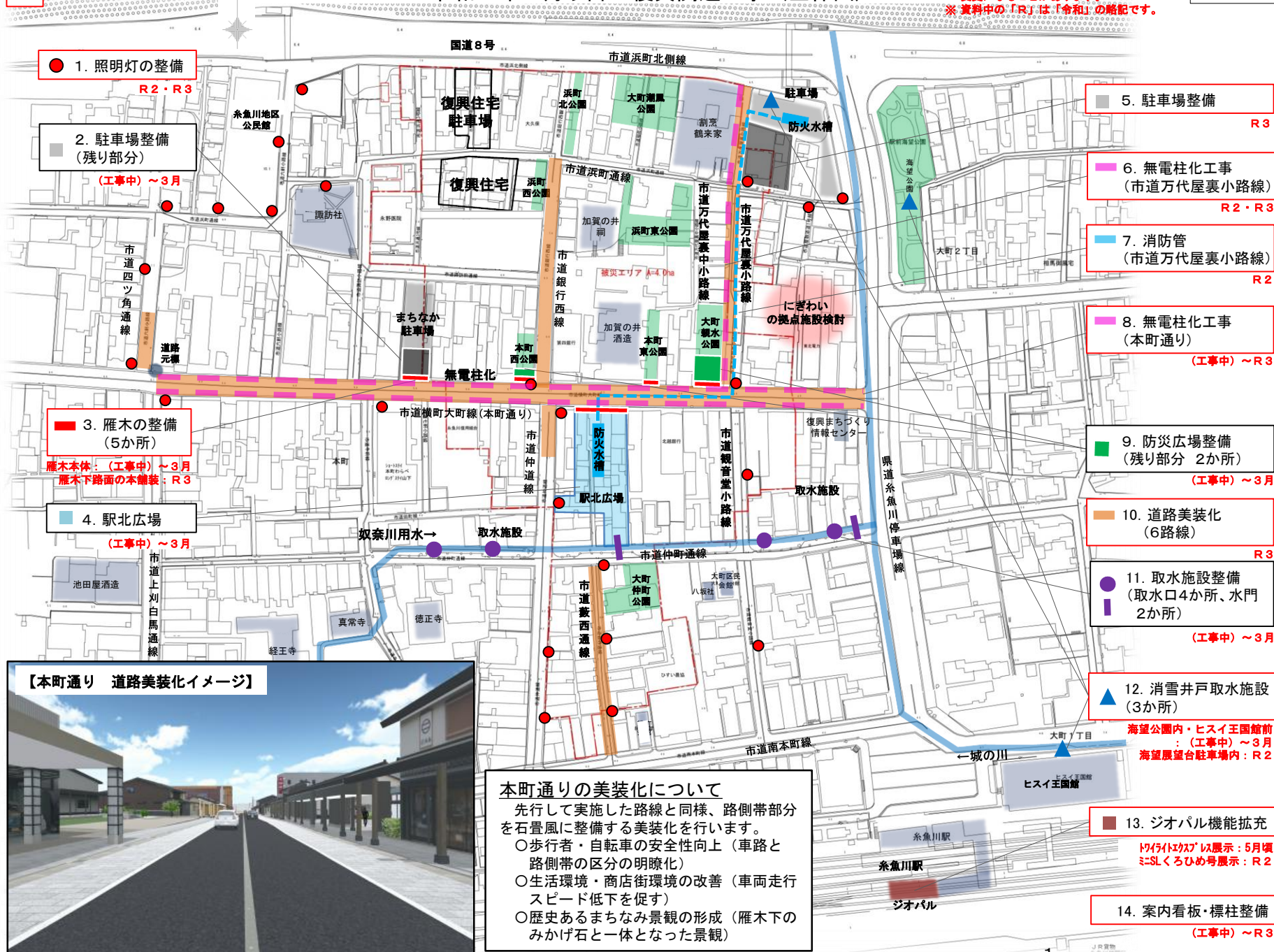
問合先 糸魚川市 復興推進課 復興係
電話番号 025-552-1511(代表)

赤枠は令和2・3年度も実施する工事です

令和2年2月以降 復興関連工事（全体図）

※ 工事日程や箇所は、現時点での予定であり、変更になることがあります。
※ 資料中の「R」は「令和」の略記です。

資料3



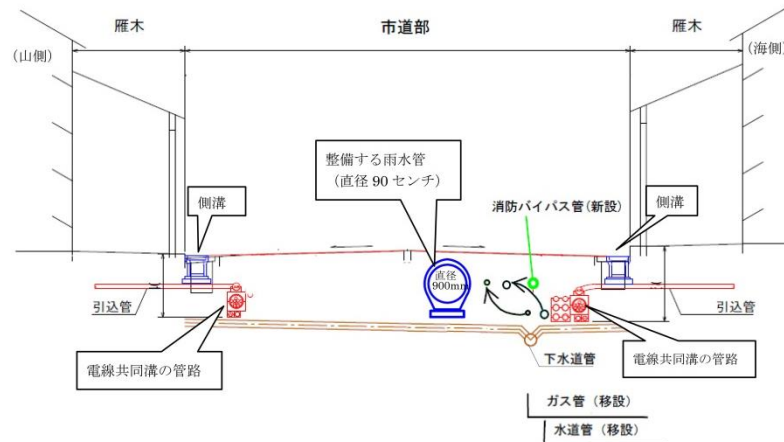
無電柱化工事の予定

交通規制について

車両片側交通の規制を伴う工事がR3年度まで断続的に行われます。

ご不便をおかけしますが、
ご理解ご協力をお願いしま
す。

＜電線共同溝及び雨水管のおおむねの配置（本町通り）＞



市道万代屋裏小路線

m

電線共同溝

市道横町大町線(本町通り) $L=340\text{m}$

(施工済)雨水管

防火水槽
(駅北広場)

【凡例】

- ・電線共同溝整備  (～R2.7まで)  (R2・R3)
 ・雨水管整備  (施工済)
 ・消防管整備  (施工済)  (R2)
 ・共同溝から電柱への立上り 
 ・変圧器等の地上機器 

駅北広場「キターレ」の開設について

駅北広場（愛称：キターレ）は、様々な活動が生まれる施設を目指して、4月のオープンに向けた準備を進めています。

1 施設の管理運営について

(1) 運営管理者（指定管理者）

株式会社 BASE 968（ベースキューロクハチ）

(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時から午後10時まで
- ・休館日 毎週水曜日、年末年始（12/29～1/3）

(3) 利用方法

- ・広場はどなたでも立ち寄り、ご利用いただけます。
- ・ただし、施設の全部または一部を占用して利用する場合は、事前の申請と利用料金の支払いが必要です。

（利用料金）

施設区分		利用料金（1時間当たり）	
屋内広場	ホール	1区画（10㎡程度）	200円
		全面	2,300円
	エントランス	1区画（10㎡程度）	200円
		全面	1,200円
	厨房	1区画	400円
屋外広場		1区画（10㎡程度）	100円

- ・厨房を1日以上利用する場合は、1日につき3,500円
- ・厨房を1月以上利用する場合は、1月につき35,000円に光熱水費相当額を加算
※市が共催する事業や市長が必要と認めた場合は、減免することができます。

(4) 申込方法

【3月2日（月）から31日（火）まで】

市役所復興推進課で電話により受け付けます

【4月1日（水）以降】

駅北広場キターレにおいて、電話（556-8200）又はメール、ホームページで申請を受け付けます

(5) 利用説明会の開催について

多くの皆さんからご利用いただき、活動しやすい広場となるように、説明会を開催します。

① 日時、会場

2月29日（土）10時から

糸魚川地区公民館 2階 大会議室

② 厨房の利用申込について

申し込みは随時受付しますが、4月中に厨房の利用を希望される方は、利用調整のため以下の期間内に連絡願います。

4月分の利用申込：3月2日（月）・3日（火）

（※5月分以降の利用申込は随時受付いたします）

2 復興まちづくり情報センターについて

駅北広場の開設に伴い、現在の復興まちづくり情報センターは閉館いたします。

・大火の展示や情報発信について

駅北広場で行い、広場の運営管理者が引き継ぎます。

・駅北地域の活動支援や相談について

集落支援員 1 名を継続して配置し、駅北広場で活動する予定としています。

3 今後の予定

2月29日（土） 利用説明会

3月 2日（月） 利用申請受付開始

3月27日（金） 復興まちづくり情報センター閉館

3月28日（土） 駅北広場 竣工式

3月29日（日） 駅北広場「キターレ」オープン記念
第9回いといがわマルシェ

4月 1日（水） 供用開始

問合先 糸魚川市 復興推進課 にぎわい創出係
電話番号 025-552-1511(代表)

駅北広場「キターレ」の整備概要と利用について

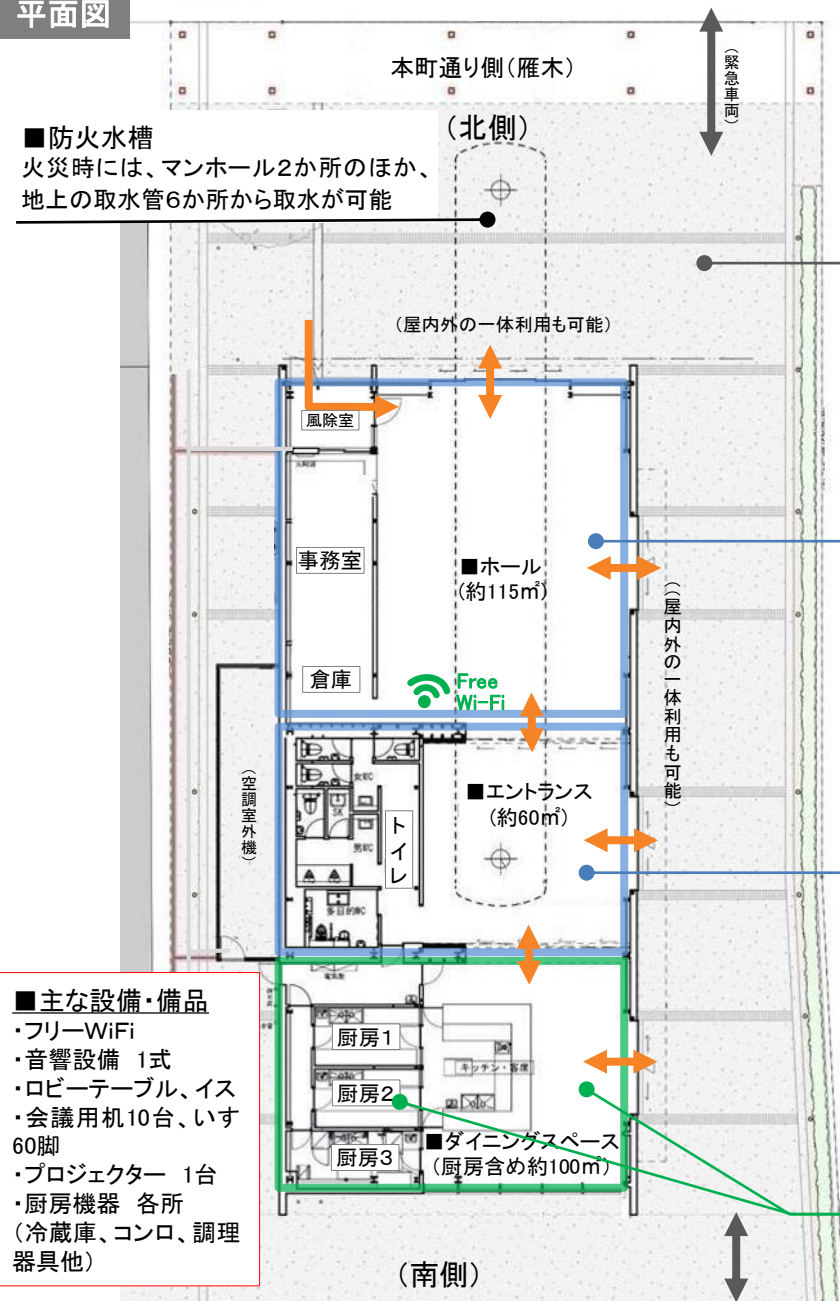
平面図

■防火水槽

火災時には、マンホール2か所のほか、地上の取水管6か所から取水が可能

■主な設備・備品

- ・フリーWiFi
- ・音響設備 1式
- ・ロビーテーブル、イス
- ・会議用机10台、いす60脚
- ・プロジェクター 1台
- ・厨房機器 各所(冷蔵庫、コンロ、調理器具他)



■屋外広場

- ・マルシェなどの屋外イベントも想定した空間
- ・本町通りとみいちゃん通りとの往来により回遊性を向上(緊急時の車両乗入も想定)

【利用料金】

1区画(10㎡程度): 100円/時



【屋外広場のイメージ】

■屋内広場(ホール)

- ・多用途に使用できる明るく開放的なスペース
- ・本町通り側、東側のスライドドアを開けることで屋内外の一体利用も可能

【利用料金】

1区画(10㎡程度): 200円/時 全面: 2,300円/時



【ホールのイメージ】

■屋内広場(エントランス)

- ・解説パネルや焼損品の展示により大火の記憶を伝承(他の用途で使用する場合は展示の移動が可能)

【利用料金】

1区画(10㎡程度): 200円/時 全面: 1,200円/時



【大火記録展示のイメージ】

■厨房・ダイニングスペース

- ・3つの厨房と共用の客席を併設
- ・飲食を通じて交流が広がるスペース
- ・厨房はイベント等での時間、日単位での利用や起業を目指す方等の月単位での利用が可能

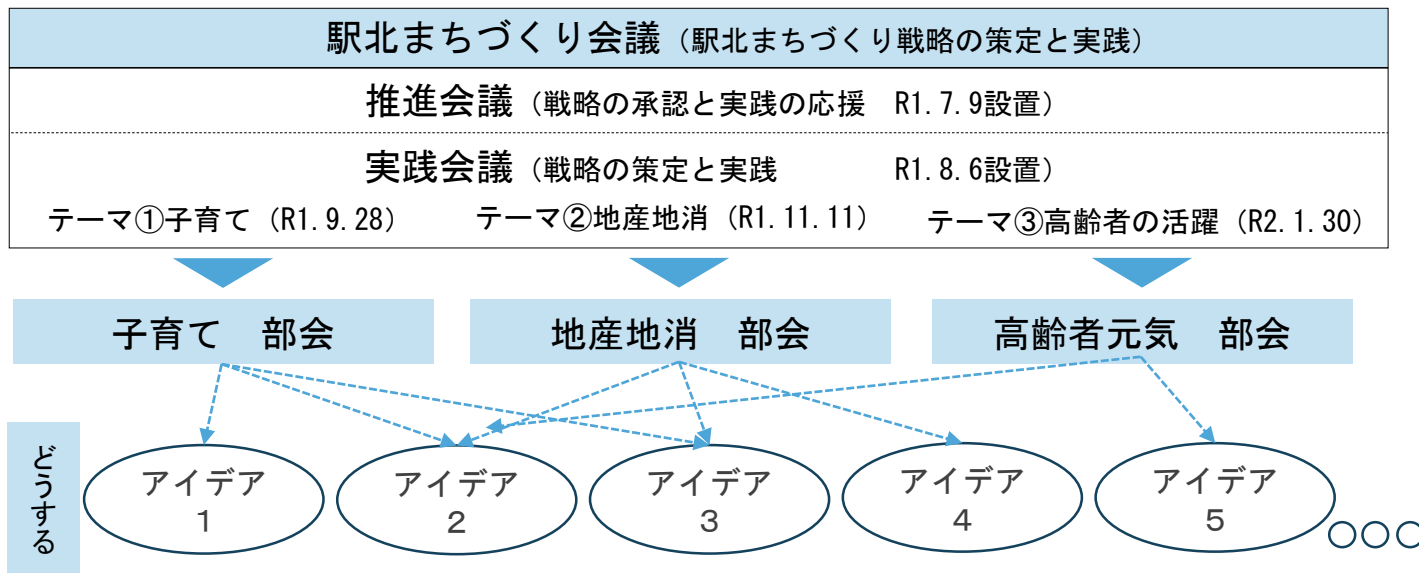
【利用料金】

厨房1区画: 400円/時、3,500円/日
(1月以上は、35,000円/月+光熱水費)

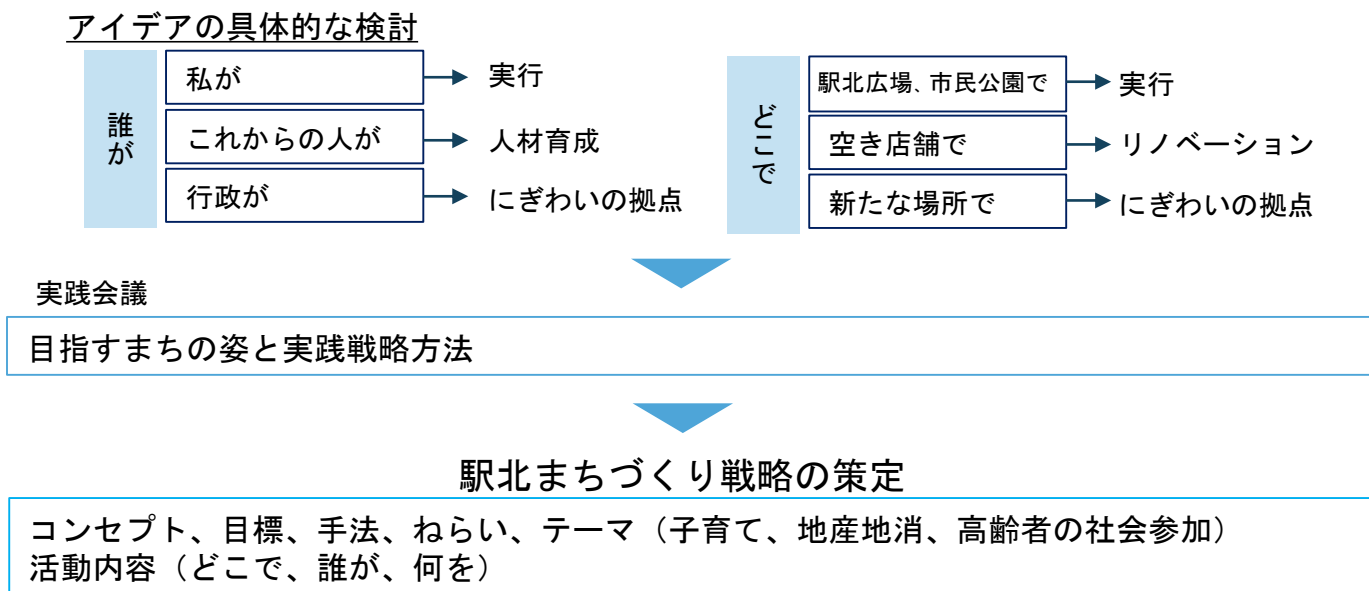


【ダイニングスペースのイメージ】

令和元年度



令和二年度



実践会議

子育て

地域みんなで子育てできる環境を目指して、様々な世代が集まるような場を創出

(視点)

- ① 0才児から2才児をもつママが楽しく集まれ、子どもがわくわくする遊び場がある。
- ② 核家族でも安心して暮らせる、企業、地域の子育て応援策。
- ③ 身近な人財（高齢者、高校生等）との共同。（マッチング等）

地産地消

今あるもので豊かに暮らしていく（ローカライズ）良さを伝えていく。

(視点)

- ① 地元食材だけで料理を提供する難しさ。消費者のことを考えた地産地消のありかた。
- ② 地場産材（杉）で事業を検討（地域プラットフォーム）

高齢者元気

住民が住み慣れたまちで暮らし続けるために、日常的な元気になる取組（活動的な生活）が必要。

(視点)

- ① 1人でなく地域ぐるみの活動が基本。
- ② 地域のつながりが強くなると、様々な活動に好影響。

部 会

途中経過であり確定しているものではありません。

○目指す姿「みんなで子どもを見守り育てられるまち」

○取り組みの方向性

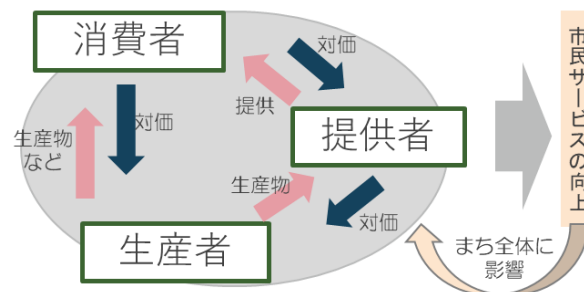
- ① ママの共感が広がる機会の創出
- ② 子どもが自ら考え、遊べる環境
- ③ 子どものまちへの誇りを醸成

○活動アイデア

- ・ 子どもが遊べて、ママがお話できる場所づくり
- ・ 子どもに対する体験活動でなく、社会に役立つ実践的な活動ができる場づくり
- ・ 子育て世代を応援する人、モノ、コトをつなぐ機能
- ・ 子育てに関する民間活動が継続するように応援できる機能
- ・ 子育て世代が訪れても支障がない、ユニバーサルデザイン的なまちの基盤環境

○目指す姿「地産地消の良さ(品質、安心、地域内循環)を市民が市民に伝えていくまち」
～ つくり手と市民をつなぐ新たなしかけ ～

(地産地消のサイクルイメージ)



○目指す姿 (仮) いつまでもピンピン、にこりと暮らせるまち

(姿の視点)

- ・ いつまでも健康で、身の回りのことを行い、楽しく暮らせること。
- ・ 健康でいれないことは「損」（充実感、お金の損得など） など

実践に向け具体的な内容を検討中

■ 駅北まちづくり会議（推進会議・実践会議）の開催経過及び今後の予定（令和元年度）

月日	時間		内容	講師	場所
令和元年 7/9 (火)	13:30-15:00	第1回推進会議 キックオフ	会議趣旨について 実践会議の立ち上げについて	清水 義次 西村 浩	ヒスイ王国館
8/6 (火)	18:30-21:00	第1回実践会議 キックオフ	糸魚川市の現状と課題について 実践会議で議論していくテーマについて	西村 浩	市民会館 エントランス
9/28 (土)	9:30-12:00	第2回実践会議	女性が輝ける暮らしを考える －子育て・しごと・教育－	丑田 俊輔氏	市役所 市民ホール
11/11 (月)	18:30-21:00	第3回実践会議	糸魚川ならではの資源と活用を考える －暮らしの地産地消－	竹内 昌義氏 原 大祐氏	共場糸魚川 コモンズ
12/21 (土)	15:00-16:30	シンポジウム	第1回 リノベーションまちづくりシンポジウム	矢口 真紀氏	ヒノキヤ東隣 の空き店舗
令和2年 1/15 (水)	19:00-21:00	シンポジウム	第2回 リノベーションまちづくりシンポジウム	遠矢 弘毅氏	ヒノキヤ東隣 の空き店舗
1/30 (木)	18:30-21:00	第4回実践会議	高齢者がいつまでも活躍できるまちを考える －高齢者の健康と社会参画－	逢坂 伸子氏	ヒスイ王国館
3/4 (水)	13:30-15:00	第2回推進会議	中間報告、意見交換	-	市役所会議室

■ 推進会議、実践会議の令和2年度の予定

月日	時間		内容	場所
令和2年 4月	18:30-21:00 (予定)	第5回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略案の検討	駅北広場 (予定)
5月	18:30-21:00 (予定)	第6回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略案の検討、まとめ	駅北広場 (予定)
6月	18:30-21:00 (予定)	第7回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略案の策定	駅北広場 (予定)
7月	13:30-15:00 (予定)	第3回推進会議 (予定)	駅北まちづくり戦略の確認、意見交換	駅北広場 (予定)